

| 学習指導要領   |  | 都立足立東高校 学カスタンダード   |
|--|--|--|
| (1)<br>原始<br>・<br>古<br>代<br>の<br>日<br>本<br>と<br>東<br>ア<br>ジ<br>ア | <p>原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史と資料<br/>遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。</p> <p>イ 日本文化の黎明と古代国家の形成<br/>旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 古代国家の推移と社会の変化<br/>東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽<sup>ほうが</sup>について考察させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縄文、弥生、古墳時代について理解する。</li> <li>○ 当時の東アジア諸国の動向について理解する。</li> <li>○ 大陸との関係について理解する。</li> <li>○ 氏姓制度について理解する。</li> <li>○ ヤマト朝廷の仕組みについて理解する。</li> <li>○ 東アジアの動向とヤマト政権の発展について理解する。</li> <li>○ 大化の改新における国際情勢と大化の改新の流れについて理解する。</li> <li>○ 律令体制の仕組みについて理解する。</li> <li>○ 遣唐使と大陸文化の受容について理解する。</li> <li>○ 平城京の発展と地方社会の変容について理解する。</li> <li>○ 藤原氏の進出に伴う政界の動揺を多角的にとらえる。</li> <li>○ 墾田永年私財法から当時の土地政策について深く理解する。</li> <li>○ 平安朝廷の形成の過程を理解する。</li> <li>○ 桓武天皇の宮都造営と蝦夷征討について理解する。</li> <li>○ 桓武・嵯峨天皇の政治改革の流れについて理解する。</li> <li>○ 藤原北家が発展した背景とその後の政界の流れについて理解する。</li> </ul> |
| (2)<br>中<br>世<br>の<br>日<br>本<br>と<br>東<br>ア<br>ジ<br>ア            | <p>中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>ア 歴史の解釈<br/>歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。</p> <p>イ 中世国家の形成<br/>武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>ウ 中世社会の展開</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 荘園と武士とのかかわりについて理解する。</li> <li>○ 後三条天皇の親政について理解する。</li> <li>○ 白河上皇の院政の背景と流れについて理解するとともに、平氏政権が台頭してきた背景について理解する。</li> <li>○ 北条氏の台頭と鎌倉幕府との関係について理解する。</li> <li>○ 蒙古襲来に関して国際関係との関係を踏まえて理解する。</li> <li>○ 鎌倉時代の文化について当時の情勢を踏まえて理解する。</li> </ul>  |

| 学習指導要領   |  | 都立足立東高校 学カスタンダード |
|--|--|------------------|
| <p>日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>(3) 近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近世のア 歴史の説明<br/>歴史的な事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</p> <p>イ 近世国家の形成<br/>ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。</p> <p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容<br/>幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。</p> <p>(4) 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>近代のア 明治維新と立憲体制の成立<br/>開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。</p> <p>イ 国際関係の推移と立憲国家の展開<br/>条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。</p> <p>ウ 近代産業の発展と近代文化<br/>国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 室町幕府の成立の背景と流れについて理解する。</li> <li>○ 幕府の衰退の原因と庶民が台頭してきた背景について理解する。</li> <li>○ 下剋上の風潮の下に戦国大名が生まれ、各地でそれぞれ独自の統治が行われていたことを知る。</li> <li>○ 大航海時代の影響で日本に鉄砲とキリスト教が伝わり、大きな変化をもたらしたことを知る。</li> <li>○ 織豊政権に初めて全国が統一され、その後の江戸時代の基礎が作られ始めていたことを知る。</li> <li>○ 江戸幕府の成立と、戦国時代から幕藩体制の確立までの流れについて理解する。</li> <li>○ 江戸時代の安定した社会の下、さまざまな産業技術や文化が発展していったことを知る。</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>○ 欧米で資本主義経済を特質とする近代国家が成立し、植民地を求めてアジアに進出したことを知る。</li> <li>○ 国学や蘭学などの新しい思想や学問の登場、寺子屋などの教育機関の発達を知るとともに、これらが日本の近代化の基盤になったことを知る。</li> <li>○ アメリカからの開国要求を契機に、江戸幕府が開国したことを知る。</li> <li>○ 日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の貿易市場として開かれたことを知る。また、その内容が不平等な条約であったことを知る。</li> <li>○ 開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。</li> </ul> |                  |

| 学習指導要領   |  | 都立足立東高校 学カスタンダード |
|--|--|------------------|
| <p>(5) 経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>両 近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。</p> <p>世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成<br/>政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。</p> <p>大戦 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会<br/>国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。</p> <p>期 ウ 第二次世界大戦と日本<br/>国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。</p> <p>の 日本と世界</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 明治新政府が中央集権化を図るとともに、富国強兵、殖産興業政策の下で、さまざまな改革を実施したことを知る。</li> <li>○ 欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。</li> <li>○ ロシアや清国などと領土画定が進められていったことを知る。</li> <li>○ 藩閥政府に対する不満と不平士族の反乱が、自由民権運動につながっていったことを知る。</li> <li>○ 大日本帝国憲法の制定により、外見的には立憲体制が整えられたことを知る。</li> <li>○ 日露戦争後から昭和初期にかけて、「大正デモクラシー」という風潮の中で人権意識が高まり、様々な思想が浸透したことを知る。</li> <li>○ 第一次世界大戦において、日本が中国における利権を得て、やがて欧米と対立するようになることを知る。</li> <li>○ 戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌、昭和恐慌など、日本で続けて恐慌が発生し、経済状況が悪化する中で、国家主義思想が台頭したこと、五・一五事件や二・二六事件などが起こったことを知る。</li> <li>○ 日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されるなど、東亜新秩序の形式によって局面を打開しようとしたことを知る。</li> </ul> |                  |
| <p>(6) 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>現代 ア 現代日本の政治と国際社会<br/>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>の イ 経済の発展と国民生活の変化<br/>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発</p> <p>日本と世界</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第二次世界大戦敗戦後、日本はアメリカ軍を中心とした連合国軍の占領下に置かれていたことや、GHQ/SCAPが日本の非軍事化と民主化を目的に間接統治を実施したことを知る。</li> <li>○ 戦後、我が国の民主化を推進するために、GHQ/SCAPが五大改革を行ったことについて知る。</li> </ul>   |                  |

| 学習指導要領  | 都立足立東高校 学カスタンダード  |
|---|---|
| <p>達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 歴史の論述</p> <p>社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ GHQ草案を基に新たに制定された日本国憲法について、大日本帝国憲法との大きな違いを踏まえて、特に三大原理について知る。</li> <li>○ 戦後の混乱の中で、民主選挙の実施とともに、我が国における政党政治が復活したことや様々な社会運動が行われたことについて知る。</li> <li>○ 現代の日本社会が直面する身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などについて、様々な資料等を活用して、具体的な事例とともに知る。</li> </ul> |